

— 未来へ羽ばたく第一歩 —

祝

成人式

1月7日にローズアリーナで「島田市成人式」が開催されました。今年の対象者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた1041人。式典には、新成人801人が出席し、アトラクションでは、市内在住の高校生三味線奏者ハレルヤさんによる三味線演奏が行われ、新成人を祝福しました。



桜 恩師からのメッセージ



まつうらとしゆき
松浦利幸さん (島田第二中)

これから地元を創り続けていく仲間も、他のまちに出て活躍する仲間も、この成人となった日を忘れず、志をもって生きていってほしいと思います。



やましろうたくや
山城拓也さん (静岡大学)

皆さんが成人を迎えると思うと、時の流れの早さに驚くと共に、感慨深く思います。大人であることの責任と自覚をもち、大いに活躍されることをお祈りしています。



ハタチの主張

当たり前前の日常を大切に歩む



まつむらひびき
松村響さん
(初倉中学校区)

皆さんは「当たり前前」について考えたことはありますか。家があつて、家族がいて、友達がいて、学校に行ける、皆さんはそんな当たり前前のことを喜んだことはありますか。私は、特に何の感謝の気持ちも持たず、過ごしてきました。それは、その当たり前前を失ったことがなかったからです。人は失って初めてその大切さに気づくもので、大切なものの前に、当たり前だと勘違いしてきたのです。

私の父と母が出会わなかつたり、先祖の誰か一人でもいなくなつたら、私はこの世に存在しません。これまで出会った先生方がいなか

かつたら、体育教師になるという夢も持つことはありませんでした。また、友達がいなかつたらこんなに楽しい毎日を過ごすこともできなかったでしょう。たくさんの人達がいて、今の私がいいます。私が当たり前だと思つていたことは、とてもかけがえのないものだったので。

今までのたくさんの当たり前前が私たちを作ってくれていることを、決して忘れてはいけません。日常こそが特別であり、奇跡そのものです。日常に心から感謝し、これからさらに自分の夢に向かって、当たり前前を素晴らしい歩んでいきます。



感謝と決意を込めた誓い



しばたともや
柴田友弥さん
(島田第一中学校区)

感謝の気持ちを伝えられる大人に

成 人となり、自らの言葉
や行動の持つ意味など
責任も重くなります。だから

これまでたくさんの方に
迷惑を掛け、お世話に
なってきましたが、感謝の気
持ちをうまく表現できず、相
手に何の気持ちも伝えられな
いまま、やり過ごしてしまっ
たことが数多くありました。
中学時代、私が悩んでいた時
に相談に乗ってくれた友人、
高校時代、私が部活で朝早い
のにもかわらず、当たり前前
のように毎日欠かさずお弁当
を作ってくれていた母など、
私には感謝の言葉を伝えなけ
ればならない人が何人もいま
す。

※当日の「新成人の言葉」から一部
抜粋・編集しています。

こそ、今まで素直に感謝の気
持ちを伝えることができな
かった自分を変え、ただ「あ
りがとう」と思うだけではな
く、言葉や態度で感謝の気持
ちを表現できる人になろうと
考えています。

今 日という日を境に、社
会的に大人とみなされ
た私に必要なことは、これか
らの日本社会を担う大人とし
ての自覚と責任を持つことだ
す。これから社会に出て、多
くの人のつながりを持ったと
き、感謝の気持ちを大切に
し、誰からも信用される大人
になりたいと思います。